

公立大学法人宮城大学名誉教授称号授与規程

平成21年4月1日

規程第70号

(趣旨)

第1条 この規程は、宮城大学（以下「本学」という。）の名誉教授の称号の授与に関し必要な事項を定めるものとする。

(名誉教授の称号)

第2条 名誉教授の称号は、次の各号のいずれかに該当する者に授与する。

- 一 本学の教授として10年以上勤務し、教育上又は学術上の功勞のあった者
- 二 前号に定める年数にかかわらず、本学の教授として教育上又は学術上の功績が顕著であった者

三 本学の学長として、特に功績が顕著であった者

2 前項第1号に定める勤務年数には、次の各号に掲げる方法により算出した年数それぞれを算入するものとする。ただし、本学に教授として5年以上勤務したものに限り、

- 一 本学での勤務年数の算出は別表1のとおりとする。
- 二 本学以外の大学での勤務年数の算出は別表2のとおりとする。

(欠格条項)

第3条 公立大学法人宮城大学就業規則（平成21年宮城大学規則第3号）第61条に規定する懲戒処分のうち、停職処分を受けたことがある者には、名誉教授の称号は授与しない。

(推薦)

第4条 学群長、基盤教育群長又は研究推進・地域未来共創センター長は、教授会若しくはセンター運営委員会の議に基づき、名誉教授候補者推薦書（様式第1号）により、名誉教授の称号を授与することが適当と認められる者を学長に推薦するものとする。

2 学長は、前項の推薦を受けたときは、教育研究審議会の議を経て、名誉教授の称号授与を決定するものとする。

(称号の授与)

第5条 名誉教授の称号の授与は、名誉教授称号授与書（様式第2号）の書式を交付して行う。

(取消)

第6条 学長は、名誉教授の称号を授与された者がその榮譽を汚す行為があり、名誉教授の称号を保持するに適當でないと認めたときは、教育研究審議会の議を経て、当該称号の授与を取り消すものとする。

(委任)

第7条 この規程に定めるもののほか、名誉教授の称号に関し必要な事項は、学長が定める。

第4編人事労務 名誉教授称号授与規程

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、平成21年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規程の施行の日の前日において宮城大学の教授、准教授、講師又は助教の職にある者で、この規程の施行日現在において公立大学法人宮城大学の教授、准教授、講師又は助教の職にある者に係るこの規程の適用については、第2条第1号及び第2号並びに第3条第1号中「本学」とあるのは「本学（宮城大学及び宮城県農業短期大学を含む。）」と読み替えるものとする。
- 3 この規程の施行前に助教として勤務した年数は、准教授としての勤務年数とみなす。

附 則（H22.12.22第33回理事会）

この規程は、平成22年12月22日から施行する。

附 則（H25.3.27第67回理事会）

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則（H25.5.22第69回理事会）

この規程は、平成25年6月1日から施行する。

附 則（H26.10.22第89回理事会）

この規程は、平成26年11月1日から施行する。

附 則（H27.3.25第94回理事会）

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（H28.3.23第107回理事会）

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（H29.3.22第120回理事会）

(施行期日)

- 1 この規程は、平成29年4月1日から施行する。

(学部に係る経過措置)

- 2 この規程の施行の日から学部在籍する者が当該学部在籍しなくなる日の属する年度の末日までの間における改正後の公立大学法人宮城大学名誉教授称号授与規程（以下「新規程」という。）の適用については、次の表の左欄に掲げる新規程の規定中同表の中欄に掲げる字句は、それぞれ同表の右欄に掲げる字句に読み替えるものとする。

第2条第3号	学群長	学群長，学部長
第2条第4号	学群	学群，学部
第4条第1項	学群長	学群長，学部長

附 則（H30.6.27第138回理事会）

この規程は、平成30年7月1日から施行し、平成30年4月1日から適用する。ただし、第2条の規定は、平成27年4月1日以後に退職した者に適用する。

附 則（R3.3.24第172回理事会）

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

第4編 人事労務 名誉教授称号授与規程

別表1 本学での勤務年数の算出

准教授	講師	助教
2分の1	3分の1	4分の1

別表2 本学以外の大学での勤務年数の算出

教授
2分の1

第4編人事労務 名誉教授称号授与規程

様式第1号（第4条関係）

名誉教授候補者推薦書

____年__月__日

宮城大学学長 殿

推薦者

所属・職

氏名

印

下記の者は、推薦根拠のとおり、宮城大学名誉教授称号授与規程に該当する者と考え、名誉教授候補者として推薦します。

記

候補者

元所属・職

氏名

推薦根拠

宮城大学名誉教授称号授与規程第2条第__号

根拠の概要（上記規程に係る根拠を200字以内で簡潔に）

--

第4編人事労務 名誉教授称号授与規程

様式第1号（第4条関係）別紙1

名誉教授候補者推薦理由書

候補者 元所属・職
氏名

（推薦理由：候補者の功績を800字以内で簡潔に）

推薦者
所属・職
氏名

第4編人事労務 名誉教授称号授与規程

様式第1号（第4条関係）別紙2

選考調書

氏名 _____ 元所属・職 _____		
生年月日 _____ 推薦時 _____ 歳		
退職年月日 _____		
退職理由： 定年・任期満了・その他（_____）		
学歴（大学/大学院・卒業/修了年月日）	学位（種別・授与機関・年月日）	
教育研究歴（常勤）		
他 機 関	職位 _____	勤務期間（自・至，年数） _____
宮城大学	職位 _____	勤務期間（自・至，年数） _____
管理職歴（兼務を含む）		
宮城大学	職位等 _____	勤務期間（自・至，年数） _____
学術上の功績による受賞歴		

第4編人事労務 名誉教授称号授与規程

様式第1号（第4条関係）別紙3

主要業績一覧

主な著書・論文・作品・その他（この順に3ページ以内にまとめる）

著書 （全著者名：書名，出版社，出版年．（備考））
論文 （全著者名：論文名，誌名，巻数ページ，発表年．（備考））
作品 （全作者名：作品名（種類），発表機関／設置場所，発表年．（備考））
その他 （特許など）

第4編人事労務 名誉教授称号授与規程

様式第2号（第5条関係）

名誉教授第____号

____氏____名____
元号____年____月____日

宮城大学名誉教授の称号を授与する。

元号____年____月____日

宮城大学長_____